

製品名: IL-26 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12541**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	IL26
別名	IL26; AK155; Interleukin-26; IL-26; Protein AK155
遺伝子 ID	55801.0
SwissProt ID	Q9NPH9
免疫原	インターロイキン-26 由来の合成ペプチド（アミノ酸範囲: 21-70）

背景

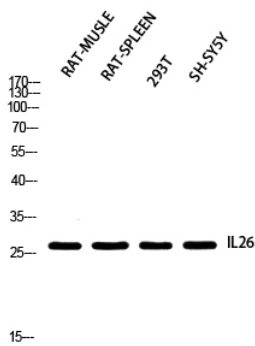
この遺伝子は、ヘルペスウイルス・サイミリによって形質転換した T 細胞において特異的に過剰発現していることから同定されました。コードされているタンパク質は、サイトカインの IL-10 ファミリーに属します。分泌タンパク質であり、ホモ二量体として機能す

る可能性があります。このタンパク質は、ヘルペスウイルス・サイミリ感染後の T 細胞の形質転換に寄与すると考えられています。
[RefSeq 提供、2008 年 7 月],誘導: ヘルペスウイルス・サイミリ感染による。 ,オンライン情報: インターロイキン-26 エントリー,類
似性: IL-10 ファミリーに属する。 ,サブユニット: ホモ二量体,組織特異性: HVS によって形質転換された T 細胞で発現しますが、他
の T 細胞株や一次刺激を受けた T 細胞では発現しません。 ,

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak_STAT;

画像データ



IL26 抗体を用いたラット-マッスルおよびラット-脾臓 293T SH-SY5Y のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈。二次抗体は 1:20000 に希釈。